



陸上競技を残して…

この時期、各中学校では中体連主催の大会で盛り上がります。

11日（土）から、天候に振り回されながらも、予定されていた競技がほぼ終了しました。あとは17日（金）の陸上競技を残すだけとなりました。

平岩小中学校選手団の結果は・・・。残念ながら今のところ県大会出場チームはありません(。;)

- 男子バスケットボール → 2敗（対財光寺中、門川中）
- 女子ソフトテニス（団体） → 2敗（対美々津中、西門川中）
- 〃（個人） → 4ペアとも各2敗（予選リーグ）
- 男子卓球（個人） → 3人とも各1、2回戦敗退
- 男子剣道（個人） → 1回戦敗退



結果だけ見れば上記のとおりですが、それぞれに得るものがあったり、現時点での実力を出し切ったりして、結果には表れない収穫もあったようです。選手の皆さんお疲れ様でした。また、朝早くから応援や送迎をしていただいた保護者の皆様ありがとうございました。

各部顧問も、これまで土曜、日曜関係なく指導に当たってきました。しかし、結果につなげることができず、一番悔しい思いをしてるのは部顧問の先生かもしれません。

校長は、割り当てられた卓球競技に張り付いていましたが、どの学校の選手も、マナーがしっかり身についていることに感動しました。併せて、勝つ喜びを味わわせることも大事だと痛感しました。決勝に進むチームの選手は自信に満ちあふれ、練習の時の目つきも真剣そのもの。ピンチになっても自分を鼓舞し、戦況を翻そうと粘り強く戦う姿勢が見られました。

勝ち負けにこだわるつもりはありませんが、子どもたちには成功体験を積ませることも大事だとつくづく考えたところです。部活動に限らず、よその学校のよいところを直接実感させる機会をつくることも必要ななどと考える大会でした。

仕事についての講話

15日（木）に「仕事についての講話」を行いました。キャリア教育の一環として中学部の生徒を対象にしたものですが、日向市キャリア教育支援センターの協力により3名の外部講師を招きました。

☆松岡浩蔵さん（「眠りの駅」ライフショップまつおか」代表取締役）

☆鈴木敦子さん（前日向病院看護師長）

☆穴谷修志さん（日向市社会福祉協議会総務課長）

どの講師もお話が上手で、それぞれの経験や学びから子どもたちにたくさんの示唆をえていただきました。

生徒には、これから進学先や目指す職業の選択も含めて、自分の生き方について考える時の一つの材料にしてほしいと思います。

もちろん、進路や生き方については、保護者の考えも大切です。ぜひ、お子さんと話をする時間をつくっていただきたいと思います。

【7月の主な行事】

- | | |
|-----|--------------------------|
| 1日 | 学校保健委員会 |
| 7日 | 諸塙自然体験スクール（5年生～8日） |
| | 高校説明会（8・9年生）、第2回PTA運営委員会 |
| 9日 | 数学検定（午前中）、第1回OGYの会（午後） |
| 13日 | 薬物濫用防止教室（5・6年生） |
| 14日 | 学校訪問（午前中授業） |

失敗を恐れるよりも、何もないことを恐れよ

新しいことに挑戦したり、判断に迷ったりしたときには不安がつきまとうものです。しかし、そこで行動を起こさなければ得るものはない。行動して失敗しても、そこからは教訓が得られ、次の成功へのヒントが得られるというものです。

これから次々と新たな挑戦を繰り返す子どもたちには、常に前に進む気概を持ってほしいと願うばかりです。



19日～ エプロン給食

21日～ 1学期終業の日（給食なし）

22日～ 夏季休業

小学部水泳指導（希望者）（25日・26日）

24日～ 県中学校総合体育大会

27日～ 日向市水泳大会（小学部）